

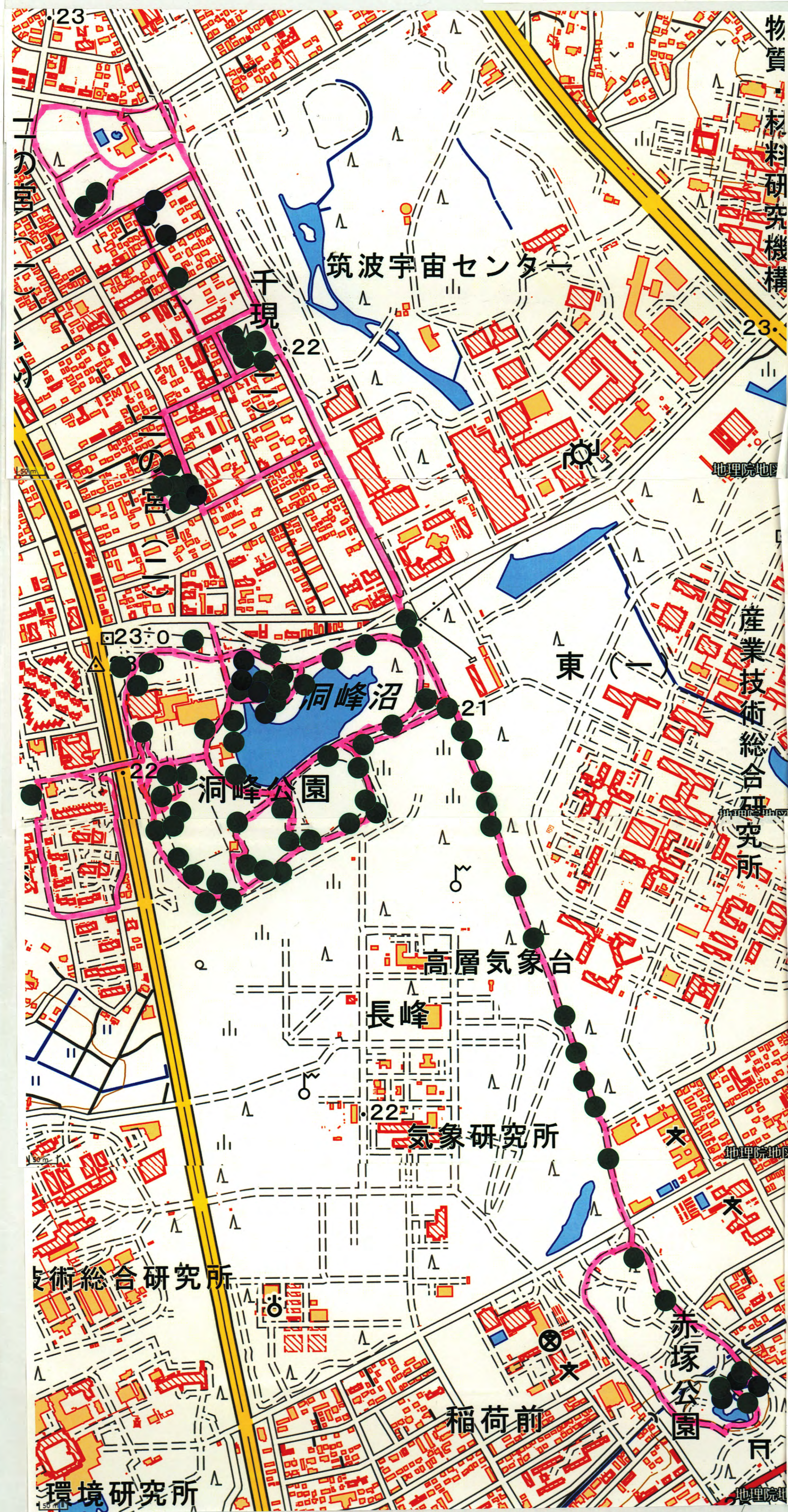
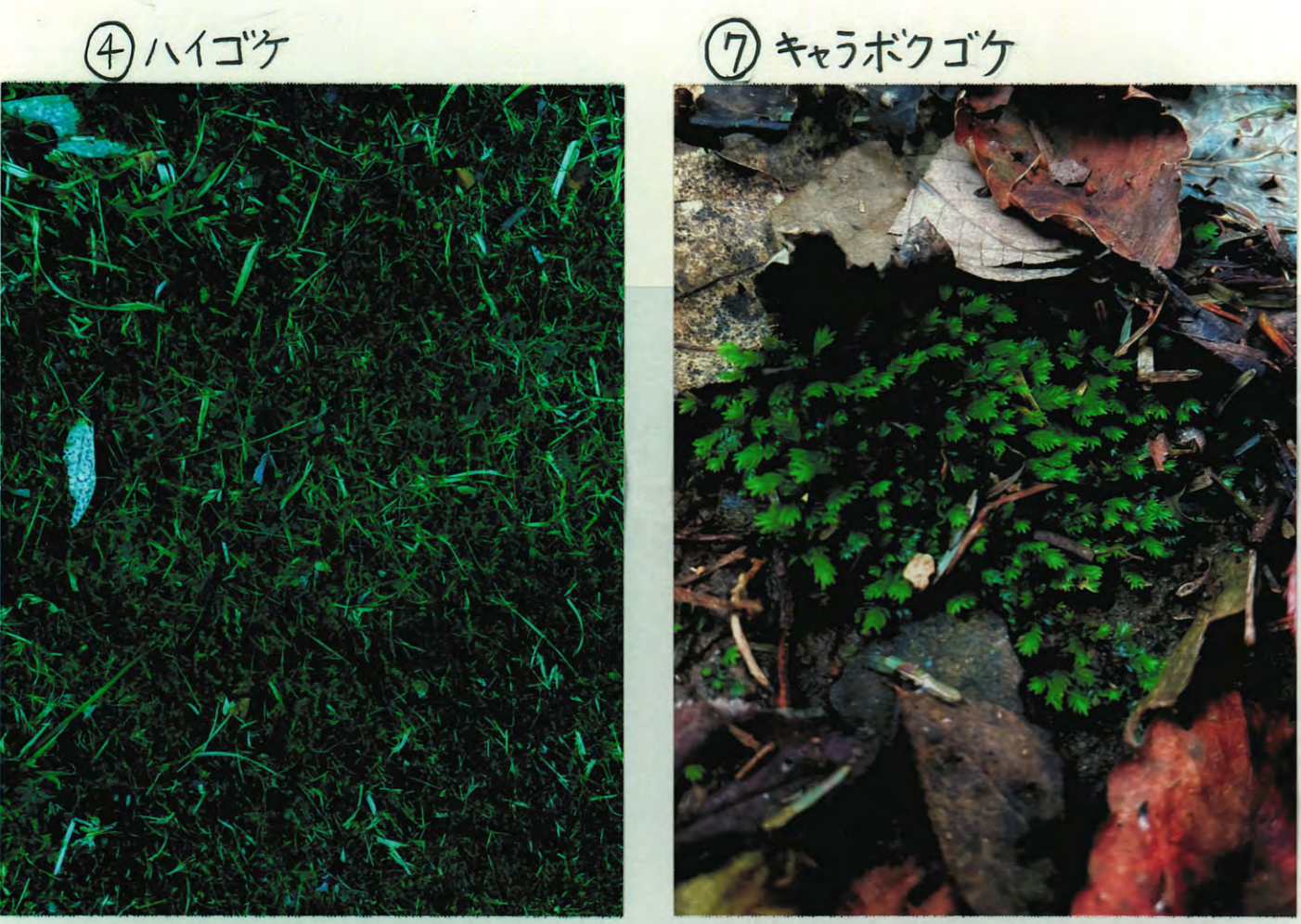
つくば遊歩道 周辺の苔マップ

江戸川学園取手中学校1年 岡嶋 遼真

(1) 見つけた苔の種類

苔の種類	主な発見場所	特徴
① ホソウリゴケ	明るいよく人が通る コンクリートの上	誰もが道端で見かける。踏まれ ても平気。
② ウマスギゴケ	明るく開けた土の上	なかなか抜けない。
③ コスギゴケ	明るく開けた土の上	道端でよく見る。
④ ハイゴケ	明るい土の上	芝生と一緒に見かける。
⑤ エソスナゴケ	明るい岩や砂の上	水を与えないとしぼむ。
⑥ コツボゴケ	人が通らない日陰の 土の上	時々、道端で見かける。 じゅうたんみたいで柔らかい。
⑦ キャラボクゴケ	日陰の土の上	街中ではあまり見かけない。
⑧ ゼニゴケ	明るく湿った土の上	湿った場所でよく見かける。
⑨ ジャゴケ	公園内の小川の近く	食べることが出来る。

※地図の緑色の部分が、苔を探した場所。
●は、藓類(上の表の緑字)が多かった場所。
○は、苔類(上の表の青字)が多かった場所。



(2) 住宅街、公園、遊歩道の苔

- 住宅街では、苔が少なかった。種類もホソウリゴケくらいしかなかった。
- 公園では、芝生とハイゴケが共存していた。土が露出している場所はコツボゴケやコスギゴケなど、種類が豊富だった。公園の木の幹にも生えていた。
- 遊歩道では、日当たりや人通りの違いによって苔の種類や量が違った。

(3) 人通りの多さと苔

- 人通りが多い所には苔が少なかった。
- 例外としてホソウリゴケは、人に良く踏まれる場所にも多く生えていた。

(4) 生着場所による違い

- アスファルトよりも土の上の方がたくさん生えており、種類も豊富。
- 石畳では、石と石の隙間に苔が集中していた。アスファルトでは、みぞが浅く、じゅうたんのように均一に生えており、踏むと滑りやすそうだった。
- 古い切株は苔の種類も量も多く、美しかった。

※(左の写真) 石畳、(右の写真) アスファルト



(5) 日当たり、湿気の影響

- ゼニゴケとジャゴケは、湿気の多い場所で見られた。
- 他の苔は藓類だが、ゼニゴケとジャゴケは苔類であるためかもしれない。

※(左の写真) ゼニゴケ、(右の写真) ジャゴケ



(6) 感想

- 身近な地域でも場所によって、苔の種類や量が違うのを地図と結びつけて調べることで図鑑では分からないことが分り面白かった。
- 今回は住宅街や公園しか調べなかったため、山や森の中も調べてみたい。